

# 第6回ふじた看図アプローチ研究会まとめ

日時：2024年3月21日（木）17：30～19：45

場所：藤田医科大学3号館6-643

参加者：ふじかんメンバー6人

ファシリテーター：加藤 治実

タイムキーパー：浅岡先生

勉強会は二部構成で実施した。

第一部では、テキスト『協同学習ツールのいかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』第2章「看図アプローチで協同学習」をLTD話し合い学習法を用いて読み解く形で進行了。特に、第2章はアイスブレイクについての内容があったため、アイスブレイクを最初に行ってからLTD話し合い法に入った。第二部では、演習（感染予防）での効果的な看図アプローチの使用について加藤の事前学習（案）をもとに話し合った。

## 1. LTDの内容

- ・アイスブレイクは、「秘密の絵」と「むりくりうし」についてラウンドロビンで説明を行い、次の人の質問に答えるという形であった。6人全員で行ったが、盛り上がり、メンバーの意外な一面が見られた。
- ・主張の理解では、言葉は違ったが、同様の内容を指していることが確認できた。
- ・自己との関連づけでは、看図アプローチを看護の教育にどのように活かすかといった議論に発展した。

## 2. 看図アプローチ実践

加藤が2024年度に担当する感染予防の事前学習がテーマであった。

- ・看図を効果的にするためには、学生のレディネスを考慮し、必要な説明を分かりやすく伝える必要がある
- ・きゅうちゃんは、分かりやすい方がよく、手の位置がどこにあるか、誰が見てもはっきりしている方がよい。
- ・演習方法では、学生が緊張せずに自由にできるよう工夫が必要である。

## 3. きゅうちゃんシートを活用した「今の気持ち」の表現

最後に、織田先生より新メンバーについての説明がされました。メンバーが増え、さらに多くの考えを共有できることを期待します。

次回：4月19日（金）17：30～

第3章「協同学習で未来を読み取る」

ファシリテーター：朝居先生

文責 加藤治実

